第７５回(2026　令和８年度)　仙台市中学校総合体育大会 卓球競技 実施要項

1　会　場

泉　区･･･６月１３日（土）：泉総合運動場体育館　　個人および団体戦　決勝まで
若宮区･･･６月１３日（土）：（女子）泉総合運動場体育館　　個人および団体戦　決勝まで
　　１４日（日）：（男子）泉総合運動場体育館　　個人および団体戦　決勝まで
青葉区･･･６月１３日（土）：宮城広瀬体育館　　団体戦　決勝まで
　　１４日（日）：宮城広瀬体育館　　個人戦　決勝まで
太白区･･･６月１４日（日）：泉総合運動場体育館　　個人および団体戦　決勝まで
全　区･･･６月１５日（月）：泉総合運動場体育館　　県大会出場決定戦
全会場･･･８：００開場　９：００開会予定

2　期　日

	泉総合運動場体育館	宮城広瀬体育館
6 月 13 日（土）	泉区・若宮区（女子） 団体、個人ともに決勝まで	青葉区 団体戦決勝まで
6 月 14 日（日）	太白区・若宮区（男子） 団体、個人ともに決勝まで	青葉区 個人戦決勝まで
6 月 15 日（月）	全区 県大会出場決定戦	

3　大会規則

(1) 競技規則　現行日本卓球ルールによる
(2) 競技方法　①男女団体…全試合トーナメント
　　②男女個人…全試合トーナメント
(3) 登録人数　①男女団体…各校１チームずつ(６～８名)
　　②男女個人…各校８名
(4) 使用球　　日本卓球協会公認球

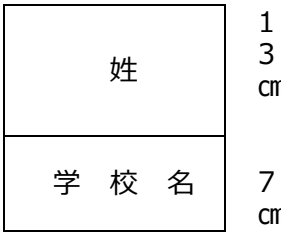
4　競技方法

(1) 男女団体戦
・学校単一のチームであり、同一校の監督１名とコーチ１名、選手６～８名で編成する。監督は必ず当該校の教職員（非常勤を除く）、または部活動指導員（※１部活動指導員の規定）であること。コーチは校長が認めた成人であればよい。
※１　部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。
① 満２０歳以上であること
② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
③ 中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。
④ 次のいずれかに当てはまる者とする。
ア　教育職員免許法に基づく免許を有する者
イ　公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者
ウ　競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者
(2) 試合は、１マッチ５ゲームとする。
(3) 団体戦は、４シングルス＋１ダブルスの５試合で行い、３点先取法による。ただし、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
(4) 登録選手の変更について
① 団体戦の選手・監督の変更は、各区団体戦初日の８時２０分まで認める。
② 個人戦の選手変更は、病気または怪我等による場合のみ認める。但し、大会３日前までに所定の用紙で委員長(将監東中学校　和田)に届けること。

5　特に留意すべき競技上の注意点

(1) 選手は必ず学校名、選手名入りのゼッケン(右の【例】を参照)を着用するものとする。なお、ゼッケンを着用していない者は失格とする。審判は、試合前にゼッケンを確認すること。
(2) タイムアウト制は採用しない。
(3) ラバーの張り替えは、ラバー張り替え所（進行席後方）で行うこと。
(4) ベンチコーチのアドバイスは、各ゲーム間それぞれ 1 分以内とする。
(5) 練習時間終了後と試合開始の間にベンチに戻ることはできない。

【例】



(6) サービスについて(特に注意すべき点)
　① サービスの時、ボールはフリーハンドの手のひらの上で静止させること。また、ボールは手のひらから 16 ㎝以上投げ上げる（ネットの高さが 15.25 ㎝）こと。
　② ボールを上げてから、打球まで、相手選手に常にボールが見えるようにすること。(疑わしい動作もしてはならない)。
(7) ラケットの片面が木質である場合は、ラバー面の色と違う、赤または黒の色で着色されていること。(着色シートやマジック類を使用)。
　① ラバーが黒で裏面にラバーを貼らない場合、裏面はボールの色とはっきり区別できる色（ITTF や JTTA が公認したラバーの色を推奨。特に赤を推奨）
　② 片面に黒以外の明るい色(赤、緑、青、すみれ(バイオレット)、ピンク/紫色)のラバーを貼り、裏面にラバーを貼らない場合、貼らない面は無光沢の黒色でなければならない。
　③ カラーラバーを使う場合、もう一方の面は黒いラバーを貼ること。
(8) ラバーをラケットに接着する際は、揮発性の有機溶剤を含んでいないものとして JTTA が公認した接着剤(液体、固形、シートなど)のみを用いて行うものとする。
(9) ユニフォームは JTTA が公認したものを着用すること。団体戦については、全員が同じユニフォームでそろっていること。
(10) ユニフォームは、既製品の状態もしくは、所属校の名前が入ったもののみ使用できます。所属校以外の名前またはマークが入ったものは使用できません。
(11) ゼッケンピンは、既製品の状態でのみ使用できます。既製品に付属していないものを新たに付け加えることはできません。
(12) ルールの適用等に疑問がある場合には審判長に申し出ること。

6　審判について

(1) 団体戦は相互審判、個人戦は敗者審判で行う。
　ただし、大会三日目に関しては、全試合相互審判で行う。

7　その他

(1) ゴミは各自持ち帰りを原則とする。
(2) 会場ではこれまで「トイレ・壁・カーテン・破損」「貴重品・現金の盗難」「学校間のトラブル」が発生しているので、各中学校において事前及び大会期間中の生徒指導・生徒掌握をしっかり行うこと。
(3) 団体戦，個人戦で、上位に入賞した学校・選手には、強化練習会の要項を配付する。
(4) 今大会に関する情報は、C4th またはメールを使用し、各顧問の先生に直接御連絡します。